



令和3年度のモデル地区では、年平均18.5ポイントの可燃ごみが削減できました。1年間の30世帯による取り組みの成果は、可燃ごみの削減量が1.013t、雑がみの回収量が0.899tとなりました。これを金額で表すと、

可燃ごみ削減量 **1.013t** × **35,000円** (トあたり令和3年度単価)
= **35,455円**の経費削減

雑がみ回収量 **0.899t** × **3,000円** (トあたり令和3年度単価)
= **2,697円**の売却収入

となり、合計で38,152円の経費の削減となりました。これをときがわ町全体で取り組めば、

約**602万円**の税金の削減が見込まれます！

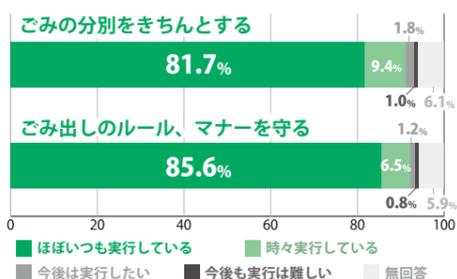
そして、

日々のごみ出しの軽量化 **持続可能な世界の実現**

につながっていく可燃ごみの減量化。これから取り組んでみませんか？ごみの重量の約8割を占める「可燃ごみ」は、減らせば減らすほど、みんなの喜びにつながるのです。

グラフ4

ごみに関する取り組み調査 ※5



※5 第二次ときがわ町環境基本計画 (平成30年3月)

町民の「ごみに関する取り組み状況」の調査では、「ごみの分別をきちんとする」項目が81.7%、「ごみ出しのルール、マナーを守る」項目が85.6%、「ほぼいつも実行している」と回答いただいた結果があります(グラフ4)。ときがわ町の皆さんは、ごみに対する意識がとて高く、多くの方が協力しようと考えていただいています。

町民の共通認識として、ごみの減量化の意識を持つことも可能なのではないのでしょうか！

人が生きていくうえで、必ず出るものが「ごみ」。

毎日、全ての人が、見て、触れているもののはずです。

一度、ごみ箱に捨てる前に、手の中のそれをもう一度見てみてください。

「可燃ごみでいいの？」「お金になる資源回収に出せないか？」「土に埋めて肥料にならないか？」「水を切ったり、乾燥させたりして少しでも軽くできないか？」

自分自身のために、町のために、持続可能な世界のために、未来の子どもたちのために、「次のごみから」できることを行っていきましょう。

おしえてマイスター！
ごみ診断！

いつも地域のごみに対する仕事をしている役場の環境担当が、とある集積所の可燃ごみを持ってきました。その可燃ごみを、ごみ減量化マイスターたちが分別診断！この可燃ごみは、ちゃんと分別ができているのでしょうか！



重さにして約**12%**減量可能！

